

テーマ

自分の思いをしっかり表現できる子になるには？



エピソード

ふみお君は、授業中に自分の考えを発表することや、友達のいろいろな考えを聞くことが大好きです。家でも、学校であったことや自分の思っていることを、両親にたくさん話します。

ワーク1

ふみお君が話すことや聞くことが大好きになった理由を、できるだけ多く書いてみましょう。

ワーク2

あなたが、子どもの話を聞くときに気を付けていることや、ついしてしまって良くなかったなど思うことはどんなことですか。

話し合いの後に、ワーク3をお書きください

ワーク3

子どもが自分の思いを表現する力をのばすために、これから、どんなことをしようと思いますか。

# 子育てのヒント

## ポイント

- まず子どもの話を聞く。子どもに「話を聞いてもらう喜び」を！  
親自身の話をしながら話しやすい雰囲気づくり
- 脱!ワンワード 子どもが文章で思いを伝える機会を!

## 資料

よく聞いてくれて  
うれしいな!

気持ちを  
分かってくれた。  
話すっていいな!

### ①目を見て、最後まで話を聞く

- ・話がそれたり、まとまらなかったりしても、最後まで聞き安心感をもたせる

### ②感情に共感する

- ・子どもの感情に共感して、言葉で伝える
- ・親も喜怒哀楽の感情を表現する

すごく  
うれしかっただね。

うんうん。  
それから?

### ③子どもに質問する

- ・「なぜ」「どうする」「どう思った」など、子どもが考え、表現する機会をつくる
- ・質問されたときは、すぐに答えず「〇〇はどう思う?」と聞く。成長の絶好のチャンス!

### ④脱ワンワード!文章で話す習慣をつくる

- ・「知らない」「普通」などの単語をNGワードに設定する
- ・単語ではなく、文章で話すよう促す

! NGワードを言わなかったら  
シールを貼るなど、ゲーム感覚で  
取り組んでみては?

お母さん、おやつ!

おやつがどうしたの?

### ⑤様子を察して先に動かない

- ・言わなくても分かることでも、あえて言葉で伝えさせる
- ・考えているときは、言葉が出るまで待つ

何が必要?  
どうしてほしい?

### ⑥五感を刺激し、心を動かす

- ・自然の中で土や風の感覚、音やにおいなどを五感で味わい、感性を育む
- ・楽しい、うれしい、ドキドキなど子どもの心が動く「話したくなる体験」をさせる

### ⑦読み聞かせや読書をする

- ・登場人物のいろいろな考え方や気持ちの伝え方を知る
- ・親子で、本から豊かな表現を学び、日頃の会話で使う

〇〇ちゃんの、今のこの気持ちが、  
あの本にあった「心がおどる」って  
いうことなんだね。

自分の思いをまとめる → 言葉で伝える → 聞いてもらう喜びを感じる

という一連のプロセスが大切

- 参考文献 『親と子の「伝える技術」』 三谷宏治  
「子どもが育つ条件—家族心理学から考える」 柏木恵子  
「子どもへのまなざし」「続 子どもへのまなざし」 佐々木正美